

喜 怒
哀 楽



藤井 健生

「これは面白い。自分でやってみよう」。当社のデジタルクーポンに初めて触れた時、直観的にそう思った。都銀・大手銀行系カード会社、流通系コード決済会社、Wallet 基盤を提供するフィンテック企業と一貫して金融・決済領域を歩んできた中で、ユーザーに使ってもらったための販促施策はスピード（利得を体感するまでの時間）と分かりやすさが必須だと痛感しており、その解決には当社デジタルクーポンが最適だと思ったからだ。

近年、スマホ上でデジタルクーポンをかざして、割引や無料といった特典を受けることが日常となっている。当社は、このデジタルクーポン配布・管理を行うサービス「プチギフト」を中心に、販売促進の企画提案からシステム開発、クリエイティブ制作、事務局対応までをワンストップで提供する会社だ。「プチギフト」は、コンビニ商品、電子マネーなどを手軽にキャンペーンに活用でき、複数の選択肢の中から好きな景品を好きなだけ、使った分だけ精算で利用できることが特徴。システム開発、クリエイティブ

デジタルクーポンの可能性

制作を内製していることで、顧客要望を踏まえたカスタマイズに柔軟に対応でき、SNSやアプリとの連携、アンケートの回答者による謝礼としてデジタルギフトを配布等、システム結合の実績も豊富だ。

最近では、プチギフトで培ったノウハウを活かしたオートクーポン（お店が管理画面から自由にクーポンを作成し、金融機関アプリ上に掲載できるシステム）をパッケージとして提供し、地方銀行や大手信販会社に採用されている。確実に一定数の閲覧がある金融機関アプリ上に自店のクーポンが掲載され、ちゃんと使われていることにお店からの評価も高い。

こうした取り組みを日本中に広げることが地方活性に繋がると信じているが、そのためには地域に密着した金融機関に採用いただくことが不可欠だ。そのため、追加開発の順番待ちが列をなしている金融機関アプリへの影響を最小限に抑え、大半を当社システムで実現できるようにしている。

今後、金融機関アプリの共通プラットフォームへの対応も行うなど、導入しやすさを更に追求していきたい。これまでの社会人人生の集大成として、金融機関の方々とともに地方活性に貢献できるように邁進していきたい。

（ふじい・けんせい）エムティピー
執行役員